

令和3年度自己点検・自己評価調査結果

1. 自己点検・自己評価の目的

JA 北海道厚生連旭川厚生看護専門学校の教育理念に沿った教育水準の向上を図り、外部からの意見を聴取し、今後の学校運営に寄与することを目的とする。

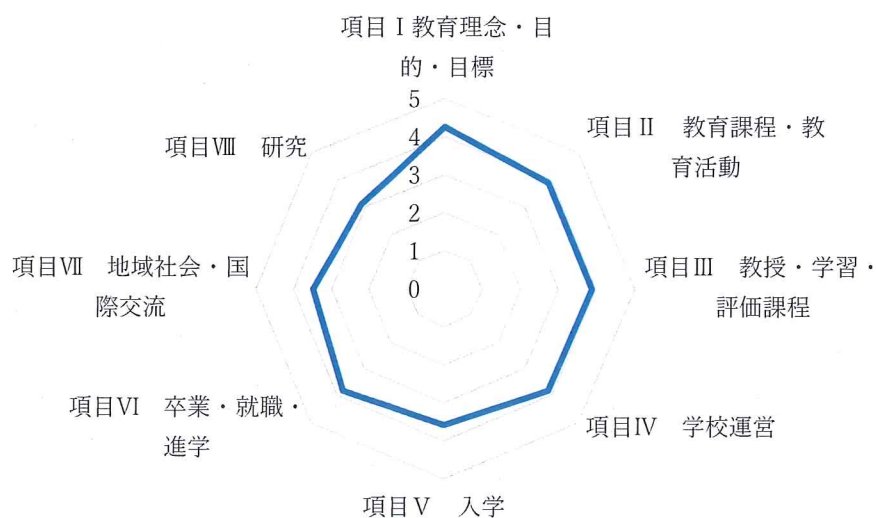
2. 本校の自己点検・自己評価方法

本校の自己点検自己評価は、昨年度から厚生労働省の評価を元に当校の状況に合わせて修正し、実施した。

3. 評価結果

項目	令和2年度平均値	令和3年度平均値
項目Ⅰ 教育理念・目的・目標	2.45	4.25
項目Ⅱ 教育課程・教育活動	2.4	3.88
項目Ⅲ 教授・学習・評価課程	2.4	3.91
項目Ⅳ 学校運営	2.3	3.85
項目Ⅴ 入学	2.4	3.6
項目Ⅵ 卒業・就職・進学	2.0	3.83
項目Ⅶ 地域社会・国際交流	1.9	3.46
項目Ⅷ 研究	1.5	3.1
総合平均点	2.2	3.74

自己点検・自己評価 項目別平均値比較



昨年度の自己評価表は、内容は9つで114項目、今年度は、吟味して、内容を整理・修正して8つ、68項目で行った。また、評価点をつけづらいことから選択肢を3から5項目に増やした。

今年度の全体平均点は3.74点であった。内容の平均点が3点未満のものはなかったが、全体の平均点を下回ったものは、「Ⅴ 入学 3.6点」「Ⅷ 地域社会/国際交流 3.46点」と「Ⅷ 研究 3.1点」の3項目であった。

評価項目ごとに見ると3点以下の項目は3項目あった。その項目としては、Ⅱ 教育課程・教育活動の「教育課程を評価する体系を整えている」が2.9点、「教員が授業準備のための時間をとれる体制を整えている」が1.9点、Ⅵ の「卒業生の活動状況を把握、統計的に整理し、教育理念・教育目的、教育目標、授業展開に活用している」が3.0点であった。

昨年度迄と評価内容は違うが、評価項目の研究に関する「研究調査活動の体制」の項目をみると5点中1.4点と低い状況であったが、全体的には自己評価表の内容・項目を変えたことにより結果の判断が難しい部分があった。

平成29年度からの課題としていた自己点検・自己評価の公表については、令和元年度からホームページ上で行っている。

4. 重点課題と今後について

- (1)教育を行っていく上で大切な、授業準備体制・相互研鑽システム、研究に関する項目が低い状況にある。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で授業方法・時期・内容の修正・変更が幾度となくあったことの影響は大きいと考えるが、質の高い学校経営、教育活動を行えるように工夫・改善を行っていく。
- (2)卒業生の問題を明確にする、活動状況を把握する、そして、それらを教育課程にフィードバックする評価が低くなっていることから、卒業生の状況を把握し、教育課程に生かすようなシステムを作っていく。

5. その他

今年度から自己評価内容を変更したが、評価項目の視点が分かりづらいと言うアンケート結果があった為、評価項目の共通認識を図っていく。